



ふれあい 広場



この菩薩像は、江戸時代に寄せ木法によって作られたものです。獅子の上に乗っていること、右手に剣、左手に巻物を持っていることが特徴です。学問をつかさどる仏様としての信仰を集めています。争いのたびに場所を移され、大正の始めに広琳寺にきました。そのときすでに顔が焼け、ハスの花びらや指も欠けていました。しかし、周りに残っている金ばくが当時の豪華さを感じさせてくれます。

天然記念物のシダレ桜があるなど、文化財に恵まれた寺です。皆さん、ぜひ、一度見に来てください。(昭和47年12月8日、市指定文化財)。

木造文珠菩薩坐像 (広琳寺)

平出町 松本尊弘さん



文化財ウォッチング